

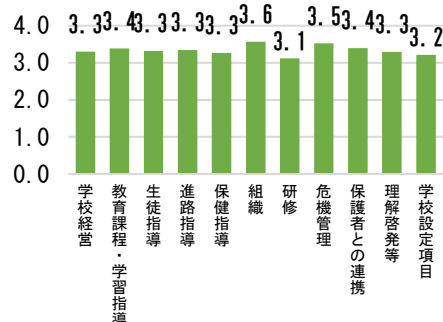
令和5年度（2023年度）学校評価のまとめ〔概要〕

令和6年（2024年）3月1日
北海道鷹栖養護学校

自己評価のまとめ

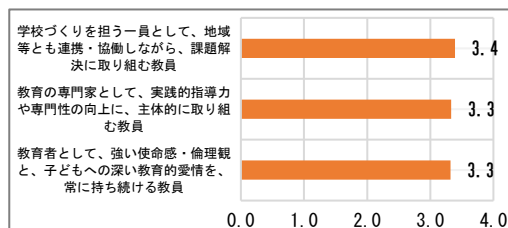
【各項目の評価】

- 「組織」、「危機管理」の得点が高い
 - ・学部主事や寮務主任、分掌部長等を中心とした連携や伝達が組織的に働いている。
 - ・情報の漏えいへの注意や、怪我や事故等への危険に対する意識を高くもっている。
- 「研修」、「学校設定項目」の得点が低い
 - ・校内研究や自己研修の取組が、実践的指導力や専門性の向上につながっていない。
 - ・「働き方改革」の取組が、実際の業務への実感として反映されていない。



【「北海道における教員育成指標」との関連】

- 「教育又は保育の専門性に関する観点」と「連携及び協働に関する観点」の得点が低い
 - ・教育の専門家としての力や、地域等と連携・協働する力を身に付ける必要がある。



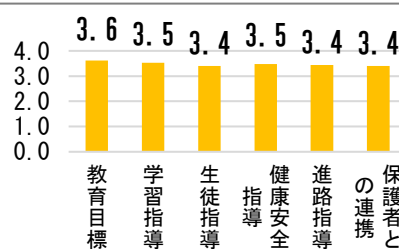
保護者アンケートのまとめ

【各項目の評価】

- 「生徒指導」、「進路指導」、「保護者との連携」の得点が少し低い
 - ・学校の取組は、概ね保護者からの理解を得られているが、教員の指導力の向上が必要である。

【要望、感想等】

- 児童生徒や保護者との関わり
 - ・児童生徒への指導や保護者との関わりにおいて、気になる場面がある。



今後に向けて

1 実践に向けた校内研究の充実

実践的指導力や専門性の向上に向けた、日々の教育活動に直結する校内研究の充実を図る。

2 適切な指導の在り方の見直し

児童生徒との日々の関わりを見直すとともに、児童生徒の人権を尊重した指導を実践する。

3 保護者との関わり方の見直し

保護者との関わりを振り返り、丁寧な説明と適切な言葉遣いや態度となるよう心掛ける。

学校運営協議会委員から

- 地域学校協働活動の取組が、地域の方々に見えるよう発信する。
- 授業の改善や指導力の向上等、教員自身に返ってくるよう研修を充実させる。